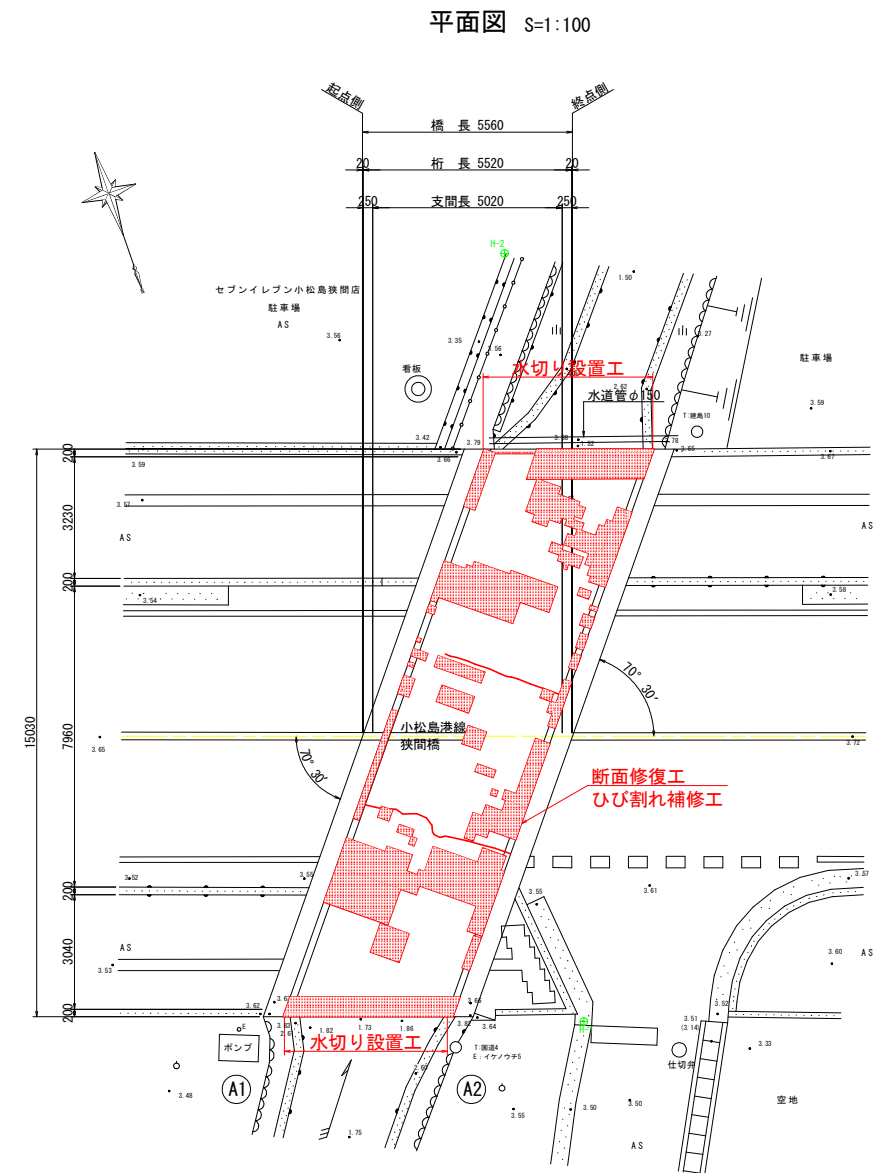
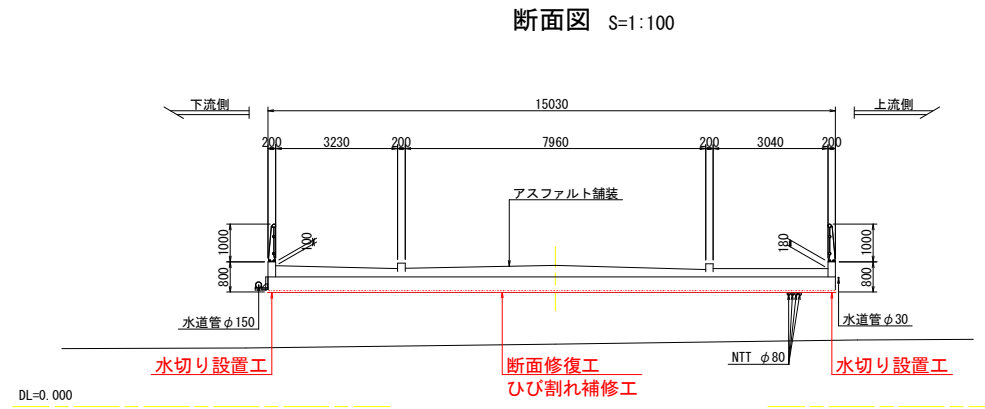
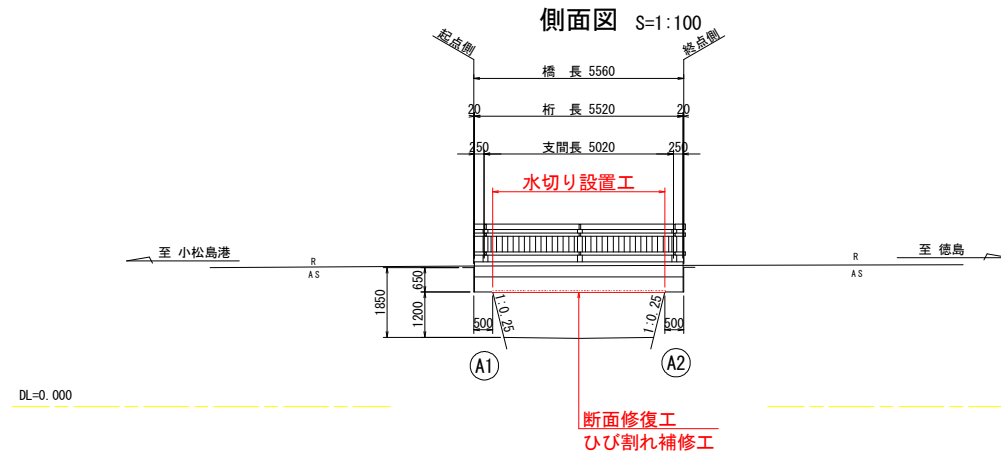


狭間橋 補修計画一般図



狭間橋 補修工事内容一覧

工種	仕様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入
水切設置工	あと施工型(軟質PVC)

- 注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 2. 寸法は、現場実測後決定する。

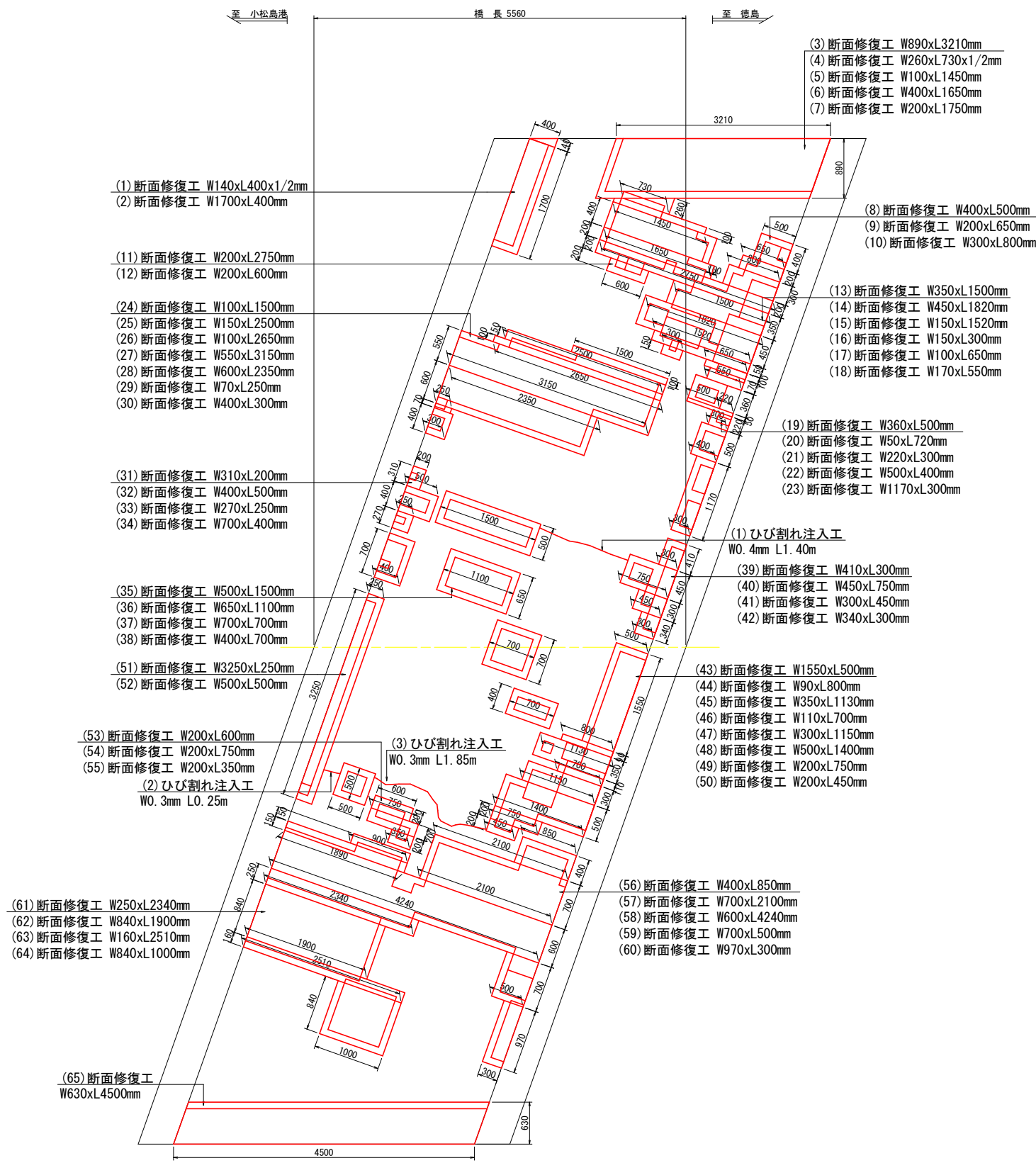
実施設計図面

工事名	R7徳土 小松島港線(狭間橋) 小・中田 橋梁修繕工事		
路線名等	小松島港線		
工事箇所	小松島市中田町(狭間橋)		
図面名	狭間橋 補修計画一般図		
縮尺	S=1:100	図面番号	1 / 3
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

狭間橋 補修工詳細図(1/2)

床版下面 補修図 S=1:40

平面図



断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.14	0.40	0.05	0.001	床版※
(2)	1.70	0.40	0.05	0.034	床版
(3)	0.89	3.21	0.05	0.143	〃
(4)	0.26	0.73	0.05	0.005	床版※
(5)	0.10	1.45	0.05	0.007	床版
(6)	0.40	1.65	0.05	0.033	〃
(7)	0.20	1.75	0.05	0.018	〃
(8)	0.40	0.50	0.05	0.010	〃
(9)	0.20	0.65	0.05	0.007	〃
(10)	0.30	0.80	0.05	0.012	〃
(11)	0.20	2.75	0.05	0.028	〃
(12)	0.20	0.60	0.05	0.006	〃
(13)	0.35	1.50	0.05	0.026	〃
(14)	0.45	1.82	0.05	0.041	〃
(15)	0.15	1.52	0.05	0.011	〃
(16)	0.15	0.30	0.05	0.002	〃
(17)	0.10	0.65	0.05	0.003	〃
(18)	0.17	0.55	0.05	0.005	〃
(19)	0.36	0.50	0.05	0.009	〃
(20)	0.05	0.72	0.05	0.002	〃
(21)	0.22	0.30	0.05	0.003	〃
(22)	0.50	0.40	0.05	0.010	〃
(23)	1.17	0.30	0.05	0.018	〃
(24)	0.10	1.50	0.05	0.008	〃
(25)	0.15	2.50	0.05	0.019	〃
(26)	0.10	2.65	0.05	0.013	床版
(27)	0.55	3.15	0.05	0.087	〃
(28)	0.60	2.35	0.05	0.071	〃
(29)	0.07	0.25	0.05	0.001	〃
(30)	0.40	0.30	0.05	0.006	〃
(31)	0.31	0.20	0.05	0.003	〃
(32)	0.40	0.50	0.05	0.010	〃
(33)	0.27	0.25	0.05	0.003	〃
(34)	0.70	0.40	0.05	0.014	〃
(35)	0.50	1.50	0.05	0.038	〃
(36)	0.65	1.10	0.05	0.036	〃
(37)	0.70	0.70	0.05	0.025	〃
(38)	0.40	0.70	0.05	0.014	〃
(39)	0.41	0.30	0.05	0.006	〃
(40)	0.45	0.75	0.05	0.017	〃
(41)	0.30	0.45	0.05	0.007	〃
(42)	0.34	0.30	0.05	0.005	〃
(43)	1.55	0.50	0.05	0.039	〃
(44)	0.09	0.80	0.05	0.004	〃
(45)	0.35	1.13	0.05	0.020	〃
(46)	0.11	0.70	0.05	0.004	〃
(47)	0.30	1.15	0.05	0.017	〃
(48)	0.50	1.40	0.05	0.035	〃
(49)	0.20	0.75	0.05	0.008	〃
(50)	0.20	0.45	0.05	0.005	〃

断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(51)	3.25	0.25	0.05	0.041	床版
(52)	0.50	0.50	0.05	0.013	〃
(53)	0.20	0.60	0.05	0.006	〃
(54)	0.20	0.75	0.05	0.008	〃
(55)	0.20	0.35	0.05	0.004	〃
(56)	0.40	0.85	0.05	0.017	〃
(57)	0.70	2.10	0.05	0.074	〃
(58)	0.60	4.24	0.05	0.127	〃
(59)	0.70	0.50	0.05	0.018	〃
(60)	0.97	0.30	0.05	0.015	〃
(61)	0.25	2.34	0.05	0.029	〃
(62)	0.84	1.90	0.05	0.080	〃
(63)	0.16	2.51	0.05	0.020	〃
(64)	0.84	1.00	0.05	0.042	〃
(65)	0.63	4.50	0.09	0.255	〃
			合計	1.698	

※は、A=幅x長さx1/2

注記)

- 鉄筋構造物の断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 修復厚さは、現橋調査結果より、純かぶり30mm+主鉄筋φ19⇒50mm に設定している。
- 断面修復箇所(65)は、補強鉄筋を計画しているため、修復厚さを90mmに設定している。
- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 鉄筋構造物は鉄筋の裏側までのはつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.40	1.40	0.05	0.034	床版
(2)	0.30	0.25	0.05	0.005	〃
(3)	0.30	1.85	0.05	0.033	〃
			合計	0.072	

注記)

- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
- 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 注入深さは、50mmに設定している。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

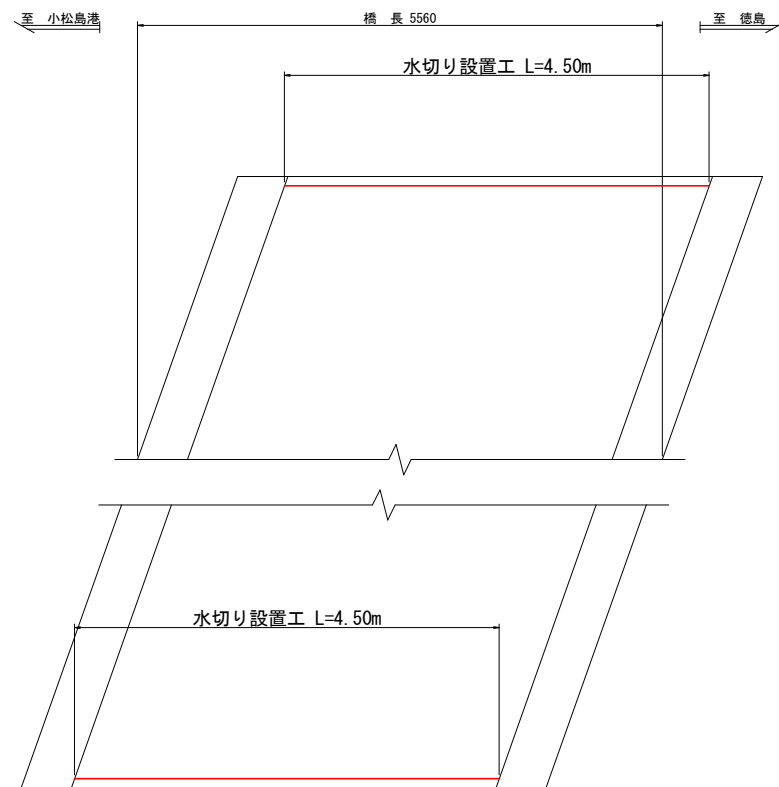
実施設計図面

工事名	R7徳土 小松島港線(狭間橋) 小・中田 橋梁補修工事		
路線名等	小松島港線		
工事箇所	小松島市中田町(狭間橋)		
図面名	狭間橋 補修工詳細図(1/2)		
縮尺	S=1:40	図面番号	2 / 3
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

狭間橋 補修工詳細図(2/2)

水切り設置工詳細図

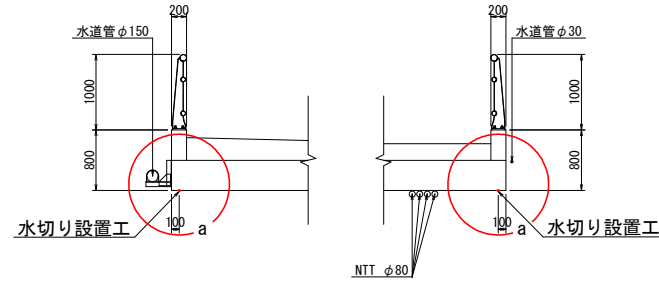
平面図 S=1:40



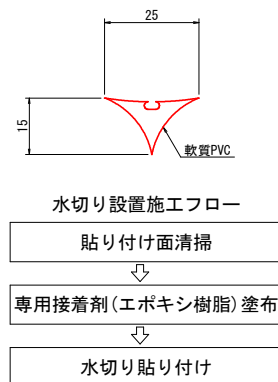
①

②

設置位置断面図 S=1:50



水切り詳細図(a部) S=1:1

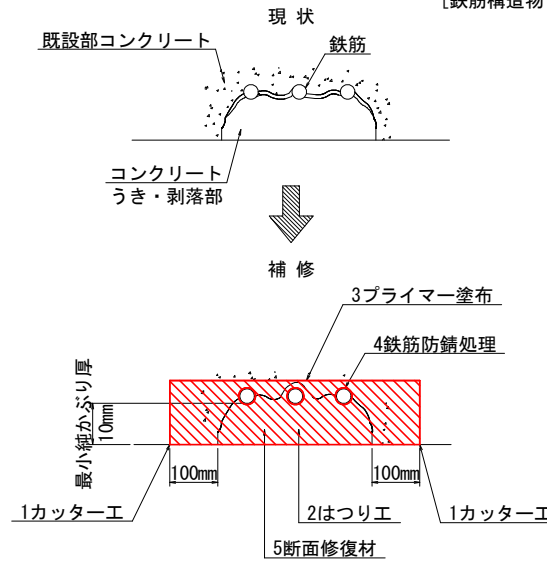


注記)
水切りは上・下流に設置すること。

補修要領図

断面修復工

[鉄筋構造物：左官工法]



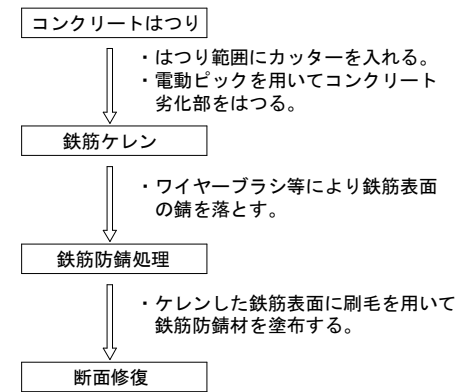
断面修復材量Vは下式より算出する。

$$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$$

ここに、

V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長
t : 修復厚
1.18 : ロス率

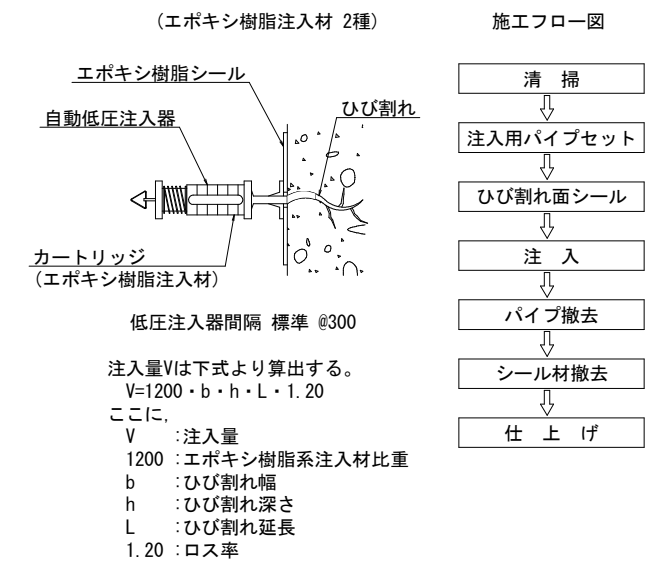
施工フロー図



- 1) 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいため、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部位で設定している。

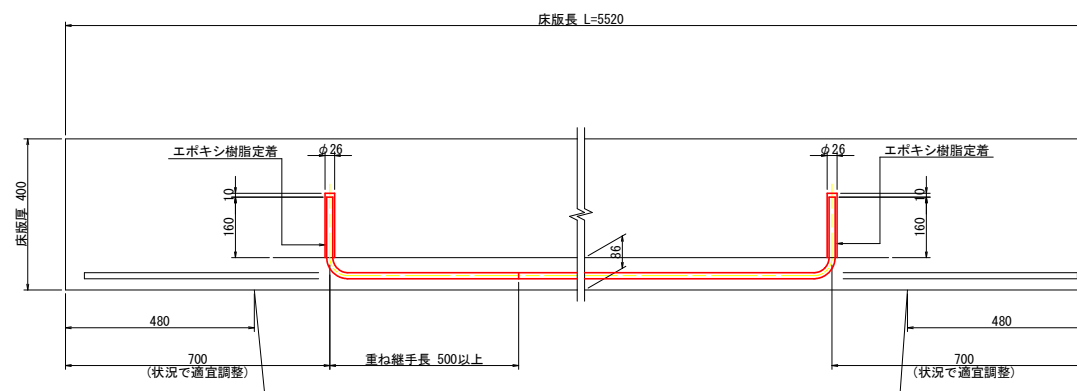
ひび割れ補修工

[低圧注入工法]

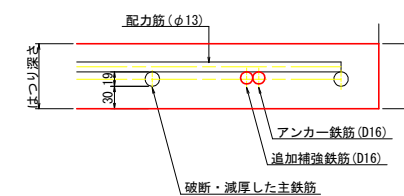


注記)
注入量Vは下式より算出する。
 $V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$
ここに、
V : 注入量
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
b : ひび割れ幅
h : ひび割れ深さ
L : ひび割れ延長
1.20 : ロス率

床版補強筋設置要領 S=1:10



詳細断面図 S=1:3



添え筋(SD345)

鉄筋種別	径	L(mm)	本数	単位質量(kg)	質量(kg)
補強鉄筋	D16	4330	4	1.56	27.0
アンカー鉄筋	D16	670	4	1.56	4.2
合計					31.2

注記)

- 1) 補強鉄筋は、主鉄筋の破断部又は主鉄筋径が90%以下に減厚している箇所に配置する。
- 2) 断面修復箇所(65)を想定して鉄筋本数を算出。
- 3) 追加補強鉄筋は、両側端部を床版に固定する構造とする。
- 4) 重ね継ぎ手は適切な定着長を確保し、結束線十分に結束を行う。
- 5) 重ね継ぎ手箇所が同一断面にならないように、アンカー鉄筋は千鳥で配置すること。
- 6) 補強鉄筋は断面修復材の充てんが不十分な場合が考えられるため、既設鉄筋から距離をとり、配力筋に結束すること。
- 7) はつり作業時に既設鉄筋が落下しないよう配慮のこと。

実施設計図面

工事名	R7徳土 小松島港線(狭間橋) 小・中田 橋梁修繕工事		
路線名等	小松島港線		
工事箇所	小松島市中田町(狭間橋)		
図面名	狭間橋 補修工詳細図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
年度	令和7年度		
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		